

「山に登る」

写真学科

田中 仁

Climb

Department of Photography

TANAKA Jin

かつて日本において山は信仰の対象であり、崇拜されてきた。宗教との繋がりから修験の場所としても認識されていた。その一方で遊山、観光としても進化を遂げてきた。写真においては永らく「山岳写真」として風景写真の一角を担っていた。現在、山に登り山道を歩くことは、人々によって描かれたラインをなぞる行為であり、追認を体感することでもある。











